



子どもの事故防止について考えよう！

14歳以下の子どもの死因のうち「不慮の事故」は大きな割合を占めています。後遺症が残ったり、死に至るような重大な事故に遭わないよう未然に防ぎたいものです。

子どもの死亡事故の原因

事故による死亡は全体の8割以上を交通事故・溺死および溺水・窒息が占めています。この3つを減らすことが有効な対策となります。

《交通事故を防ぐ》

日本では、2004年からチャイルドシートの着用が法制化されていますが、実際の着用率は6割程度です。特に子どもの年齢が上がる

につれて自己主張するようになって着用を嫌がり、着用率が下がってしまう傾向にあるようですが、事故の際には子どもの生死を分けますので、チャイルドシートの着用を徹底しましょう。

《家庭での溺水事故を防ぐ》

主な発生場所は「風呂の浴槽」です。溺水事故は水のあたる場所なら洗濯機やトイレ等、どこでも起こります。次のような対策を日頃から気を付けましょう。

- ・風呂場に子どもが一人で入れないように鍵をかける
- ・残し湯をしない
- ・子どもと入浴するときは目を離さない
- ・洗濯機の近くに踏み台を置かない

《窒息を防ぐ》

窒息の原因には、のどが詰まるような内的なもの、首が絞まる・鼻と口がふさがりような外的なものがあります。内的なもの、異物（おもちゃ・こんにやくゼリー等）の誤飲が主な原因です。3歳児では直径39mm以下、長さ51mm以下の異物の誤飲でも窒息する危険があります。外的なものは、赤ちゃんの

ときは柔らかいマットや口元に置いたガーゼ等が原因になったり、動き回るようになるのと紐や電気コード等で喉が締まったりして起こります。

誤飲を防ぐためには、食物を小さく切ったり、輪切りではなく縦に割いたりしましょう。ものを不用意に床に放置したり子どもの手が届くところに置いたりしないようにして、窒息の危険があるものや状況から子どもを遠ざけることが重要です。



事故が起きてしまったら

- 【一】 事故発生時の子どもの状況、周囲の状況を把握。
 - 【二】 意識がない、呼吸の乱れ、嘔吐、けいれん、頭痛・発熱、目つきがおかしい、手足が動かさない、顔色がひどく悪い等の症状がある場合は119番。
- *判断に迷ったときは小児救急電話相談「#8000」へ。
- 【三】 医師に伝えることは、子どもの年齢・性別、事故がいつ・どこで・どういうふうな発生し、その後の子どもの様子がどうなったか。

予防接種はお済ですか？

高齢者の

肺炎球菌定期予防接種

今年度（平成27年度）の高齢者の肺炎球菌定期予防接種の対象者は、過去に肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方で、次の事項のいずれかに該当する方です。

- 接種を希望する方は、期間内に接種を受けましょう。
- ・今年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方
 - ・60歳～65歳未満の方で心臓、腎臓、呼吸器疾患、ヒト免

《3月の乳幼児健診》

対象の方には実施日の約2週間前にお知らせと問診票等を送付します。

◇受付時間 午後1時30分～2時

- ・3歳児健診 3月7日(月)
対象：平成24年12月～平成25年1月生
- ・4カ月健診 3月14日(月)
対象：平成27年11月生

◇接種期間

3月31日まで

疫不全ウイルスによる疾患で身体障害者手帳1級を取得している方

休日当番医

診療時間：午前9時～午後4時
都合により当番医を変更することがあります。
※お問合せ先：なるしま内科医院 ☎ 869-4820

2月	14日(日)	あべ整形外科 ゆはらクリニック	阿見 稲敷	☎875-5303 ☎894-2002
	21日(日)	つじ耳鼻咽喉科クリニック 江戸崎病院	阿見 稲敷	☎801-3387 ☎894-2611
	28日(日)	市川ファミリークリニック 坂本耳鼻咽喉科医院	阿見 稲敷	☎843-3301 ☎892-2627
3月	6日(日)	はたかわ医院 角崎クリニック	美浦 稲敷	☎885-2358 ☎0297-87-6030